

## 2023年4月より新たな相談支援体制 でスタート よろしくお願いたします

	午前 9:30～	午後 ～17:30
月	田中	田中・佐藤
火	上杉・佐藤	佐藤
水	山内	山内・佐藤
木	佐藤	佐藤
金	佐藤	佐藤

\*2022年度をもって、堤端コーディネーター・榮木コーディネーターは退任となりました。

6年の間、皆様と協働させていただき、誠に有難うございました。

関係機関共有のミッション  
地域住民と専門職がいっしょに  
つくる安心のまちづくり



### 新任の佐藤コーディネーターよりご挨拶

これまで以上に、中央区の医療・看護連携を推進してまいります。よろしくお願いたします。

## 3月11日(土) 当事業の第4回運営委員会オンライン開催 連携・協働が進んだ2022年度活動の報告 -重点部分抜粋-

- ① コロナ禍でも歩みとめず、中央区内病院及びブロック(近隣7区)広域連携で病院連携の基盤ができた。
- ② 中央区の地域リハビリを担う療法士連絡会結成を支援して実現(3月)
- ③ 第12回地域ケア研究集会在、区役所含め関係機関協働の事業として拡大、初ハイブリッド開催156名参加で成功を収めた。(12月3日)  
この場で『れんけいのチカラ』～多職種連携ルールブック～を紹介、配布
- ④ 地域診断会ワーキング3年のまとめ冊子が完成し、小地域活動でのヘルスチェックなど医療関係職種に繋げた。

### ○検討課題

在宅医療機関の紹介のための『相談当番医のしくみ』を作り(東医師会・南医師会ごと)モデル運用しているがその運用にあたり、医師同士の連携ツールが必要。



## 新型コロナ5類への移行で医療体制見直しを発表 ～政府対策本部

政府の新型コロナウイルス感染症対策本部は5月8日から新型コロナウイルス感染症の5類感染症に移行することに伴う医療提供体制と公費支援の見直し方針を決定(3月10日)。焦点となる診療報酬のあり方について、5月8日以降は現行の特例を見直し、医療体制の状況をみながら来年4月の医療・介護同時改定で恒常的な感染症対策へ見直す段階的な措置がとられます。

○在宅では、緊急の往診(2850点)は介護施設等への往診に限り2850点を継続するが、その他は、950点となります。コロナ疑い患者への往診300点は引き続き評価する。

○入院では、全病院(約8200病院)で対応することを目指し、重点医療機関等以外で受け入れ経験がある医療機関(約2000病院)に対して、新たな軽症・中等症I患者の受け入れを促す。特に地域包括ケア病棟や地域一般病棟への受け入れを積極的に推進するとしている。一方、確保病床を有する医療機関(約3000病院)は、重症者・中等症II患者の受け入れへと重点化を目指すとしている。